



# Profil



山口 友由実 (ピアノ)  
Yuumi Yamaguchi, Klavier

6歳よりピアノ、作曲を学ぶ。東京音楽大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学ピアノ室内楽科にてアヴォ・クウムジャン氏に師事、2015年同大学大学院を満場一致の最優秀で修了。  
10歳のときにテレビ朝日系「題名のない音楽会」に独奏で出演。2010年Internationale Sommer Akademie(オーストリア)にてISAピアノ特別賞。2011年第18回ブラームス国際コンクール(オーストリア)ピアノ部門第3位を機に、ウィーン楽友協会でのリサイタルをはじめヨーロッパおよび日本各地でのコンサートに招聘され、ソロ、室内楽、箏との共演など幅広く活動。現在日本・ウィーンを中心に演奏活動のほか、日本女子大学、和洋女子大学等で後進の指導にもあたる。2016年にオクタヴィア・レコードよりデビューCD「謝肉祭～音列の風景たち～」を発売し、レコード芸術誌上で準特選盤に選ばれた。 <http://www.yuumi-yamaguchi.com/>



日野 妙果 (メゾ・ソプラノ)  
Taeka Hino, Mezzo-Soprano

ラインスベルグ音楽祭(独)にてティーレマン指揮、R. シュトラウス「ナクソスの島のアリアドネ」の作曲家役でオペラ・デビュー後、欧州各地の歌劇場に客演、国内に於いても東京新国立歌劇場、二期会オペラ公演等に出演。またチロル音楽祭、ダボス音楽祭、草津音楽祭など国内外有数の音楽祭に例年ソリストとして招聘されるなど、豊富な経験と安定した歌唱に定評がある。恩師G.ヤノヴィッツ氏の後援でアイスガルン(奥)に於いてドイツ歌曲連続演奏会、スイス・ダボス国際会議場に於いてE.ヘフリガー記念リサイタルを行うなど、リート歌手としての精緻な解釈と傑出した歌唱は高く評価されており、2013年にカメラータウキョウよりリリースされたCD日本歌曲集『沙羅』も好評で、日経新聞を始め、音楽現代、レコード芸術準特選盤として紹介される。国立音楽大学、ウィーン国立音楽大学首席卒業。J. アラガル国際オペラ・コンクール2位(西)、バルマード国際室内楽コンクール声楽部門3位(伊)。二期会会員、伊・モンテッラル・オペラアカデミー会員。



前田 朋子 (ヴァイオリン)  
Tomoko Mayeda, Violine

鎌倉出身・ウィーン在住のヴァイオリニスト。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て、デュッセルドルフ・ロベルト・シューマン音楽大学を首席卒業。蓼科音楽祭奨励賞受賞。カール・ニールセン国際ヴァイオリン・コンクールでディプロマ受賞、第29回ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクールで特別賞受賞。ロベルト・シューマン音楽大学にて、ドイツ国家演奏家資格を最優秀の成績で取得以来、欧州や日本でソロや室内楽で音楽活動を行なっている。  
毎年行う前田朋子プロデュース「音楽の贈りもの」シリーズは、今年で第13回となる。慈善演奏会なども積極的に参加し、それを評価され、2015年にはウィーン赤十字社よりウィーン赤十字親善大使のタイトルを贈られた。世界各地の教会でのバッハ・無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ・バルティータ全曲演奏会も毎年行い、その「人々が心から祈る場所で演奏する」というライブワークに対し、2017年ヴァチカンのフランチェスコ法王からロザリオを贈られた。これまでに梅津南美子、尾関えりか、豊田耕児、石井志都子、ミハエル・ガイザー、ティボール・ヴァルガ、エーリッヒ・ヘーバルト、パウル・バドゥラニスコダ各氏に師事。 [www.tomokomayeda.com](http://www.tomokomayeda.com)

## an die Musik (アン・ディ・ムジーク) ~音楽に寄せて について

ベーゼンドルファーの故郷オーストリアの作曲家シューベルトが、友人ショーバーの詩に曲をつけた“an die Musik (アン・ディ・ムジーク)” 芸術の素晴らしさ、音楽への感謝を歌ったこの曲にちなみ、みなさまと素敵な時間を過ごせたら・・・と願いをこめました。ピアニスト・山口友由実が毎回素敵なゲストとともにお届けします。